

令和元年度定時社員総会を開催いたしました

令和元年7月22日（月）宮城県医師会館にて、MMWIN 令和元年度定時社員総会が開催されました。

「平成30年度・事業報告」及び「令和元年度・事業計画」、「令和元年度・収支予算」についてのご報告とともに、審議事項として「平成30年度決算」及び「役員を選任」が議案として提案され、承認を頂きました。

また、眼科連携システム（45施設）や透析連携システム（23施設）の利活用事例や、画像連携システム、タブレットサービス、Web患者加入申込み、PHRサービス等の新サービスをご紹介させて頂きました。

これからも変わらぬご支援、
ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



社員総会の様子

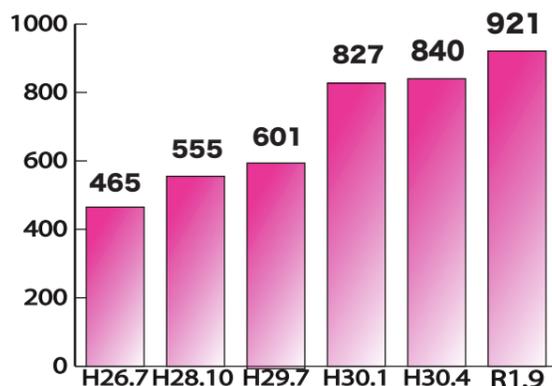
稼働状況

データで見る MMWIN の稼働状況です。

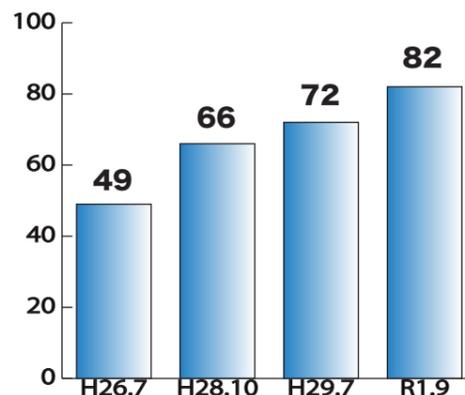
データ推移

※令和元年9月1日 時点

参加施設数推移



病院施設加入推移



MMWIN

発行：一般社団法人 みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会
〒980-8633 仙台市青葉区大手町 1-5 宮城県医師会館 6階 URL：http://mmwin.or.jp
サポートセンター TEL：022-399-6880 サポートセンター E-mail：support@mmwin.or.jp
事務局 TEL：022-395-6312 FAX：022-395-6313 E-mail：office@mmwin.or.jp

当協議会からのメールを受信できない場合がございますので、「@mmwin.or.jp」からのメールを受信できるように設定してください。
『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の登録商標です。
※本誌の収録内容の無断転載、複写、引用、改変等を禁じます。一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

©2019 MMWIN

全医療・介護・福祉分野、職種が想いをひとつに「オールみやぎ体制」でみやぎをつなぎます



エム エム ウィン
MMWIN 通信
みんなのみやぎネット NEWS

2019
9.26
vol. **58**

発行：みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

MMWIN 一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

新理事長就任のお知らせ

令和元年8月30日に MMWIN 理事会が開催され、定款第22条、第23条及び第31条の規定に基づき、清水新理事長が選定されました。

■清水新理事長の挨拶

この度、MMWIN 理事長に就任いたしました清水です。
初代の嘉数研二理事長、第二代の富永悌二前理事長のあとを引き継ぐこととなりました。微力ながら精いっぱい務めさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。
私の専門は脳神経外科で、もともと宮城県の脳卒中ネットワーク（スマイルネット）を運用していた関係で、MMWIN には事業開始当初から関わって参りました。医療福祉情報ネットワークの意義と必要性を確信し、運用を推進してきましたが、引き続き地道に普及を目指したいと思っております。

法人化から8年目を迎えた MMWIN は、全県域にわたる病院、診療所、保険薬局、介護事業所等の多くの施設に参加頂いており、情報共有同意患者数も10万人以上と国内で最大規模の医療福祉情報ネットワークとなっております。
この間、様々な課題がありましたが、医療・福祉の現場において、より役立つシステムを目指して工夫を重ねてきました。
ご参加いただいております各施設の方々には心より御礼申し上げます。

MMWIN のシステムは、診断、処方、検査、画像などを含む診療情報の多施設共有という地域医療ネットワークの基盤的な機能の上に、眼科、透析、脳卒中、周産期連携などのサブシステムが運用されております。
これらにより、多くの会員の様々なニーズにあった利活用をいただけるよう、事務局を中心に日々のきめ細かな運用・サポートをさらに向上させて参ります。



理事長 清水 宏明

医療・福祉情報の電子化と共有は国の最重要施策の一つであり、地域包括ケアシステムにおいても基盤的役割を果たす必要があります。
その点で MMWIN は大きな可能性を内包していると考えております。

事業開始当初から、医療・福祉関係と行政を含めたオール宮城を合言葉にして参りましたが、関係各位の益々の御理解と御協力を改めてお願い申し上げます。

理事長 清水 宏明

コミュニケーション機能の紹介

★機能の活用方法★

- 1対1コミュニケーション
施設内外問わずMMWINに登録している職員同士で患者の情報共有が出来ます。情報は公開されないの重要な個人情報のやり取りも可能です。
- グループコミュニケーション
MMWIN利用者内で、任意にグループを作成し、情報共有が出来ます。施設内で、職員全体や診療科毎でグループを作成したり、施設を超えて透析チームでグループを作成する事などが出来ます。
- 地域包括ケア用コミュニケーション(患者グループ)
一人の患者に対し、かかりつけ医&ヘルパー&訪問看護師といった多職種間での情報共有が出来ます。対象患者が紐付いていない施設の利用者も参加可能です。

★操作方法★

ポータルにログインしトップメニューの「コミュ」を起動させるとコミュニケーション機能のホーム画面が表示されます。画面の右上にあるMENUから宛先検索や各グループ作成等を選択しメッセージを作成していきます。一度メッセージを送信(受信)した相手は、ホーム画面に自動で追加されます。新着メッセージがある場合は『New』が表示されます。詳しい操作方法についてはサポートセンターまたは担当営業までお問い合わせください。



タブレットでも使えます!

★コミュニケーション機能とは?★

MMWINメール機能に加え、MMWINの利用者間でLINE形式のメッセージ送受信ができます。本機能はMMWINのネットワークを利用しており患者情報の取り扱いも可能です。メッセージのやり取りは、個人に送信する「1対1コミュニケーション」、複数人に送信する「グループコミュニケーション」、一人のMMWIN加入患者を指定しその患者について情報共有を行う「地域包括ケア用コミュニケーション(患者グループ)」の3種類があります。

★活用メリットは?★

自施設にはまだ受診歴の無い対象患者を受け入れる際に事前確認として情報の共有ができます。

みなさまぜひ活用ください!

第1回 透析連携のためのMMWIN活用講座

令和元年7月11日(木)第1回透析連携のためのMMWIN活用講座を開催いたしました。当日は、MMWIN参加施設様他、今回の講座内容に興味を持っていただいた7社の企業様も含め、34施設77名と多くの方々にご参加いただきました。

【セミナーの内容】

- セミナー1
「MMWINの概要について」
講師：中山 雅晴 先生
(東北大学大学院医学系研究科 医学情報学分野 教授)
- セミナー2
「透析診療におけるMMWINの活用
～透析情報共有と遠隔バックアップ～」
講師：木村 朋由 先生
(JCHO 仙台病院 透析・血液浄化センター長)
- セミナー3
「MMWIN連携による地域透析医療支援の可能性」
講師：宮崎 真理子 先生
(東北大学病院 腎・高血圧・内分科 科長)

セミナー後のディスカッションでは、会場から自施設での取り組み状況をお話していただく場面もあり、アンケートにも「活用事例を伺い、実際のイメージが湧いてきた」「透析施設間の情報やり取りの実際が判った」など、今後の活用につながる多くのご意見を頂きました。後のセミナー開催を希望するご意見も多くございましたので、今後もお期待にお応えできるよう、セミナー等の企画、活用拡大の取り組みをしてまいります。

会員の皆様はもとより、関係各位のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

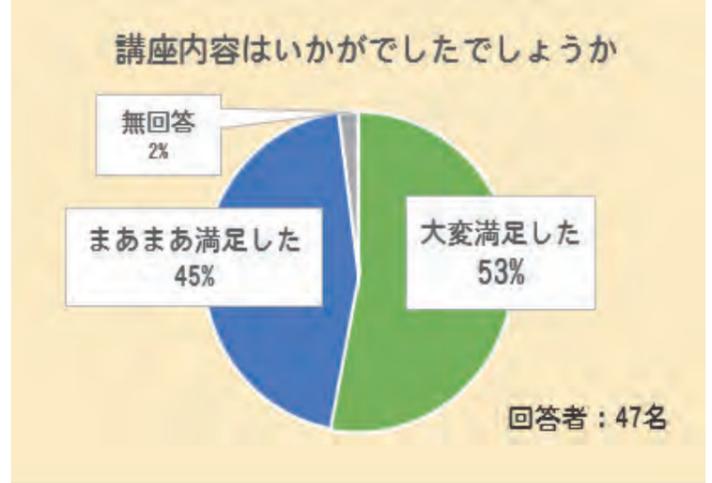
■透析連携システムだけではなく、眼科や周産期、がん治療にも多く使用され始めている事を聞き、MMWINに対する期待度が高まった。

■PCを使ったデモがあると良かった。

■第一回というので、基本的なところから始めて欲しかった。患者さんへの説明、その後どう入力していくか?双方向の流れなど。

■災害時だけではなく、日々の患者情報共有が簡単、スムーズに得られることで業務の簡素化ができるのかと思われた。

■改めてMMWINの有効性を感じた。現在、当施設ではあまり活用できていないので、今後、患者さんへの加入を勧め、上手に利用していきたい。



ディスカッションの様子

アンケート記載内容(一部抜粋)